

授業科目名	介護と看護の基礎知識	単位数	2
担当教員名	鈴木 知佐子	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康とは何か死因構造の変化から健康寿命と生活習慣病について健康日本 21 をもとに理解できる。 2. 加齢・老化に伴う身体機能の変化と健康障害及び介護との関連について理解できる。 3. 成人期の主な身体疾患の原因・労働環境や生活習慣との関連を理解し、予防の重要性が理解できる。 4. 生活の基本となる移動・摂食・排泄障害の要因と自立に向けた支援のエビデンスに基づいた基礎知識が理解できる。 5. 終末期医療と緩和ケアに関連したエンド オブライフ・ケア (End-of-Life Care) の概要が理解できる。 			
<p>授業の概要</p> <p>福祉職にかかわる上で必要となる基本的な医療知識を理解し、介護・看護の対象となる成人期（高齢者を含む）のエビデンスに基づいたケアの在り方を学修する。 また、生活・人生の QOL を重視した尊厳を支える生活支援の在り方を介護・看護の視点で学修する。 さらに人生の最終章である終末期における医療・看護・介護の視点からチームケアについて紹介し、看取りの場所とエンド オブライフ・ケア (End-of-Life Care) について学修する。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：健康の概念と介護予防 第2回：健康と労働衛生 職場のメンタルヘルス・健康障害 第3回：高齢者医療の課題 第4回：加齢老化に伴う身体機能の変化 第5回：主な身体疾患に対する病態生理の理解と介護・看護の基礎知識（精神・神経疾患） 第6回：主な身体疾患に対する病態生理の理解と介護・看護の基礎知識（悪性新生物） 第7回：主な身体疾患に対する病態生理の理解と介護・看護の基礎知識（運動器疾患・骨関節疾患） 第8回：内部障害とリハビリテーション・急性期慢性期の生活支援にかかわる介護・看護の役割 第9回：認知症の理解 種類と原因・予防・ケアの要点・ 第10回：感染症と予防対策 、感染症の主な種類と感染経路・予防 第11回：自立を支えるエビデンスに基づいた介護・看護の基礎知識 移動障害の要因と予防</p>			

第12回： 自立を支えるエビデンスに基づいた介護・看護の基礎知識 摂食嚥下障害と予防
第13回： 自立を支えるエビデンスに基づいた介護・看護の基礎知識 排泄障害と予防
第14回： 終末期医療と緩和ケア 終末期医療とチームケア
第15回： エンド オブライフ・ケア (End-of-Life Care) 看取りの場所と QOL との関係
人生会議について

定期試験

スクーリングでの学修内容

授業計画に提示した第1回～15回までを網羅した内容を学修する。

教科書

指定しない

参考文献

- ①最新介護福祉全書 12 ところとからだのしくみ 小坂橋喜久代・松田たみ子編集
メヂカルフレンド社 ISBN 978-4-8392-3199-6
- ②新・生き方としての健康科学 山崎喜比古・朝倉隆司編 有信堂
ISBN 978-4-8420-6596-0
- ③本間昭編 認知症の理解 介護福祉士養成テキストブック II ミネルヴァ書房
ISBN 978-4-623-06527-1
- ④伊藤総研編 2022 年度版 社会保障制度指さしガイド 日総研 ISBN 978-4-7760-1929-9

学生に対する評価

スクーリング評価 (25%)、レポート評価 (25%)、科目修得試験 (50%) を総合して評価する。